



滋賀県立特別支援学校技能検定

しがしごと検定



自立と社会参加をめざして



働く意欲学ぶ意欲の向上



生徒の『働きたい』を応援する



滋賀県教育委員会



11月1日は
「しが 教育の日」です!!

しがしごと検定とは？

「しがしごと検定」は、県立特別支援学校高等部（分教室、高等養護学校含む）の生徒を対象とした技能検定です。

この検定は、学校が協力企業等と連携して開発した評価基準に基づき実施するもので、運搬陳列、商品加工、清掃メンテナンス、接客、事務補助の5種目があります。

検定は年2回行うこととしており、各学校では検定に向けて具体的な目標をもってさまざまな学習に取り組めます。検定当日には、各協力企業のみなさまから助言をいただけます。

また、プロである協力企業の方から直接指導を受けることができるスキルアップ授業に参加することで、就労に対する意欲や興味・関心をさらに高めています。

協力企業一覧

検定種目	協力企業
運 搬 陳 列	株式会社平和堂
商 品 加 工	カルビー・イトーク株式会社
清掃メンテナンス	株式会社ティ・エム・エス
接 客	株式会社プリンスホテル
事 務 補 助	株式会社SCREENビジネスエキスパート

平成30年4月に社名が変わりました。

しがしごと検定の目的は？

- ① 検定に向けて具体的な目標をもって学習活動に取り組んだり、客観的な評価や助言を受けたりすることで、生徒の学習や就労に対する意欲や興味・関心を高めます。
- ② 検定に向けて学習を重ねることで、就労に必要な基礎的な態度や技能を身に付けます。
- ③ 企業や職業訓練機関等の関係者と連携した取組で、検定の有効性を高め、企業からの信頼性を確保して、生徒の「働きたい」という夢の実現につなげます。

検定の流れ

学校での取組

具体的な目標を立て学習に取り組み、就労に対する意欲や働くことへの興味・関心を高めます。



第1回検定

各級ごとに生徒に求める態度や技能の段階を設定しています。

級	求める段階	
1級	研修を経て、従業員として即実践（即戦力）で仕事を担える段階	上級
2級	1級には至らないが、研修を経て、従業員として即実践（即戦力）で仕事を担えることが期待できる段階	
3級	基本的なことはクリアできている。従業員として即実践（即戦力）で仕事を担うためには、応用的なことを学ぶ必要がある段階	
4級	基本的なことを確実にできることを目指す段階	中級
5級		
6級	基本的なことを学んでいく段階	初級
7級		
8級	しごとに向かう基本的な姿勢、態度等の準備ができているかを 確認する段階	基礎級
9級		
10級		

評価票
認定証
授与

学校での取組



第2回検定

評価票
認定証
授与

学校での取組



次年度の取組へ

スキルアップ授業

協力企業の方からの
直接指導



検定種目の紹介

運搬陳列

飲料水の賞味期限をチェックしながらきれいに陳列したり、補充したりします。お客様から声をかけられることもあります。



商品加工

衛生面に注意しながら、枝豆をゆがき、決められた量を計量し、パック詰めして商品に加工します。



清掃メンテナンス

部屋に見立てた木枠内の机や床を様々な掃除用具を使って決められた手順どおりに掃除します。



接客

喫茶店でお客様の接客をします。注文を聞いて、飲み物を提供します。お客様に喜ばれる接客を心がけます。



事務補助

社内メール便の仕分けをします。重要な文書を仕分けて、決められた宛先の封筒に入れて封をします。



受検した生徒の声

本番でまちがってすごく悔しい。次回はまちがわないようにしたい。

今度はちがう種目にもチャレンジしてみたい。

緊張して頭が真っ白になりましたが、最後までやりきれてよかったです。

最後までやりきることができて自信になった。

練習をたくさんすると、作業スピードが上がってうれしかった。

次に検定があれば、もっと上をめざしたい。

自分のためになったと思います。

問合せ先

滋賀県教育委員会事務局 特別支援教育課

〒520-8577 大津市京町四丁目1番1号 ☎077-528-4643

※ホームページもご覧ください。

しごと検定

検索